OMRON

スマートセンサ

形 ZX1-LD□□

レーザ変位センサ　CMOSタイプ

CE

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用に際しては、次の内容をお守りください。
・電気の知識を有する専門家がお取り扱いください。
・この取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。
・この取扱説明書はいつでも参照できるよう大切に保管してください。

オムロン株式会社

© OMRON Corporation 2011 All Rights Reserved.

01995560-4D

安全上のご注意

● 警告表示の意味

⚠ 警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。また、同様に重大な物的損害をもたらす恐れがあります。

● 図記号の意味

	●レーザ光線 レーザ光線による危害が生じる可能性を示します。
	●分解禁止 機器を分解することで、感電などの障害が起こる可能性を示します。

レーザ製品を安全に使用していただくために

レーザ機器に関しては、国内・外でレーザ安全対策が規定されています。国内で使用される場合、国内にて組付けられて海外輸出される場合、これらを3つのケースにわけて説明します。

1.国内で使用する場合
JIS C6802規格で、レーザ製品のクラスに応じて使用者が行わなければならない安全予防対策が規定されています。

● 警告表示

・形ZX1-LD□□センサ:クラス2 / 形ZX1-LD□□Lセンサ:クラス1

⚠ 警告

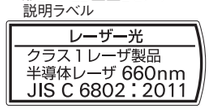
レーザが直接、または鏡面の物体に反射して、目に入らないようにご注意ください。レーザから放射されたレーザ光はパワー密度が高く、目にはいると失明する恐れがあります。

分解しないでください。分解すると、レーザ光がもれ出し視力障害を起こす恐れがあります。

レーザに関する警告ラベルまたは説明ラベルをセンサ側面に貼っています。

・形ZX1-LD□□センサ
レーザ警告ラベル

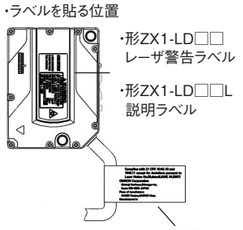
・形ZX1-LD□□Lセンサ
説明ラベル



2.米国へ輸出する場合
本装置を機器に搭載して米国へ輸出する場合、米国FDA(Food and Drug Administrarionの規制)のレーザ規制を受けます。形ZX1シリーズは、本規格のLaser Notice NO.50の規定に従いIEC/EN60825-1の基準にてClass1またはClass2に分類され、CDRH(Center for Devices and Radiological Health)に届出済みです。
Accession Number
(形ZX1-LD□□ : 1210041-000)
(形ZX1-LD□□L : 1210041-001)
米国へ輸出の際は、警告ラベルまたは説明ラベルを付属品の英文ラベルに貼替えるとともにFDA証明ラベルを右図に示している位置に正しく貼ってください。

・FDA証明ラベル

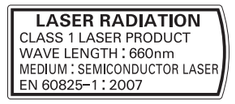
・ラベルを貼る位置



3.米国を除く諸外国へ輸出する場合
米国以外の地域については、警告ラベルまたは説明ラベルを付属品の英文ラベルに貼替えてください。

・形ZX1-LD□□センサ
レーザ警告ラベル
(クラス2警告/レーザ放出開口ラベル)

・形ZX1-LD□□Lセンサ
説明ラベル



■ヨーロッパへの輸出
形ZX1-LD□□はEN60825-1規格に定めるClass2、
形ZX1-LD□□LはEN60825-1規格に定めるClass1に分類されます。

安全上の要点

以下に示すような項目は安全を確保する上で必要なことですので必ず守ってください。
■設置環境について
・引火性、爆発性ガスの環境では使用しないでください。
・操作や保守の安全を確保するため、高電圧機器や動力機器から離して設置してください。
■電源および配線について
・定格電圧(DC10～30V リップル(p-p)10%含む)を越えて使用しないでください。
・電源の逆接続および交流電源への接続はしないでください。
・オープンコレクタ出力は、負荷を短絡させないでください。破損・発火の恐れがあります。
・負荷の接続を正しく行ってください。負荷を短絡させると、破損・発火の恐れがあります。
・負荷は定格以下でご使用ください。破損・発火の恐れがあります。
・高圧線、動力線と当製品の配線は別配線としてください。同一配線あるいは同一ダクトにすると誘導を受け、誤動作あるいは破損の原因になることがあります。
・配線やコネクタを着脱するときは、必ず電源を切ってから行ってください。
・原子力や人命にかかわる装置への安全回路には使用しないでください。
・フェールセーフ回路などの安全対策を講じてください。
■設置について
・取付けにおいて、ねじの締め付けは規定のトルク以下で確実に行ってください。
規定のトルク M3:0.5N・m (ZX1-LD50□□/ZX1-LD100□□)
M4:1.2N・m (ZX1-LD300□□/ZX1-LD600□□)
■その他
・本体の分解、修理、改造、加圧変形、焼却などは絶対にしないでください。
・廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。
・万が一、異常を感じたときには、すぐに使用を中止し、電源を切った上で、当社支店・営業所までご相談ください。

使用上の注意

製品が動作不能、誤動作、または性能・機器への悪影響を防ぐため、以下のことを守ってください。
■設置場所について
次のような場所には設置しないでください
・周囲温度が定格の範囲を越える場所
・急激な温度変化により、結露が発生する場所
・相対湿度が35～85%RHの範囲を超える場所
・腐食性ガス、可燃性ガスがある場所
・塵埃、塩分、鉄粉がある場所
・振動や衝撃が直接加わる場所
・強い外乱光(レーザ光、アーク溶接光など)があたる場所
・直射日光があたる場所や暖房器具のそば
・水・油・化学薬品の飛沫がある場所
・強磁界、強電界がある場所
・水中・降雨中および屋外
■電源および配線について
・センサの入出力線の配線を確認してから電源を供給してください。
・市販のスイッチングレギュレータをご使用の際は、FG端子を接地してください。
・電源ラインにサージがある場合、使用環境に応じてサージアブソーバを接続してご使用ください。
・配線後は電源を投入する前に、電源の正誤、負荷短絡などの誤接続の有無、負荷電流の適否について確認を行ってください。誤配線などで故障するおそれがあります。
・コードの延長は別売の延長コード(ZX0-XC□R)をご使用ください。またいずれか1本のみでご使用ください。センサのコードの延長は全長で20m以内としてください。
・電源投入から約2.5秒後に表示・点灯します。
■ウォームアップについて
・電源投入後、30分以上経過してからご使用ください。電源投入直後は回路が安定していませんので計測値が徐々に変化することがあります。また、長時間LD-OFFを使用した場合もLD-OFF解除後に30分以上のウォームアップを行ってください。
■保守点検について
・調整や着脱を行う場合は、必ず電源を切ってから作業をしてください。
・清掃には、シンナー、ベンジン、アセトン、灯油類は使用しないでください。
・センサ前面のガラス面に、大きなゴミやホコリが付いた場合は、ブロアブラシ(カメラレンズ用)で吹き飛ばしてください。呼気で吹き飛ばすことは避けてください。小さなゴミやホコリは柔らかい布(レンズクリーナーなど)にアルコールを少量含ませて、ていねいにふき取ってください。強くふくことは避けてください。ガラス面に傷がつくと、誤差の原因になります。
■対象物について
対象物の材質・形状によって、測定できない場合や精度が出ない場合があります。(透明な部材、反射率の極端に小さな材質。スポット径よりも小さな対象物、曲率の大きな対象物、大きく傾斜した対象物など)

パッケージ内容の確認

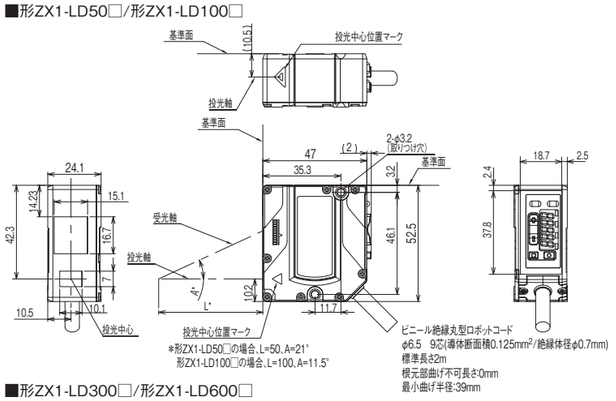
・センサ　1台
・取扱説明書(本書)　各1部(日本語、英語)
・FDA証明ラベル 1枚
・レーザ警告ラベル　各1枚(和文、英文)
(形ZX1-LD□□Lにはレーザ警告ラベルの代わりに説明ラベルが付属します)

1 設置編

1-1 外形寸法図

(単位：mm)

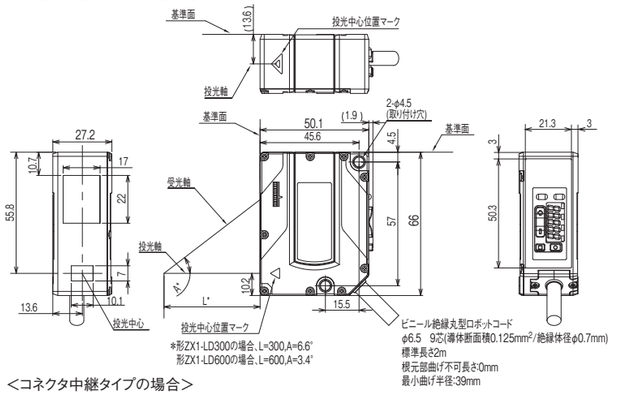
■形ZX1-LD50□/形ZX1-LD100□



*形ZX1-LD50□の場合、L=50、A=21°
形ZX1-LD100□の場合、L=100、A=11.5°

ビニール絶縁丸型ロボットコード
φ6.5 9芯(導体断面積0.125mm²/絶縁体径φ0.7mm)
標準長さ2m
根元部曲げ不可長さ0mm
最小曲げ半径:39mm

■形ZX1-LD300□/形ZX1-LD600□

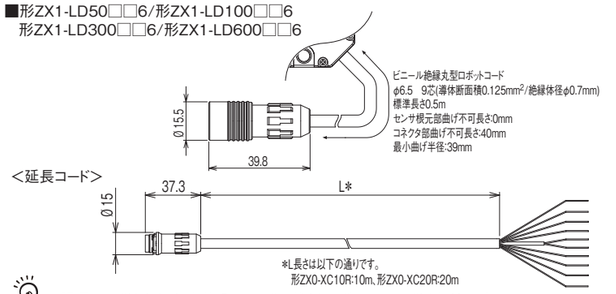


*形ZX1-LD300の場合、L=300、A=6.6°
形ZX1-LD600の場合、L=600、A=3.4°

ビニール絶縁丸型ロボットコード
φ6.5 9芯(導体断面積0.125mm²/絶縁体径φ0.7mm)
標準長さ2m
根元部曲げ不可長さ0mm
最小曲げ半径:39mm

<コネクタ中継タイプの場合>

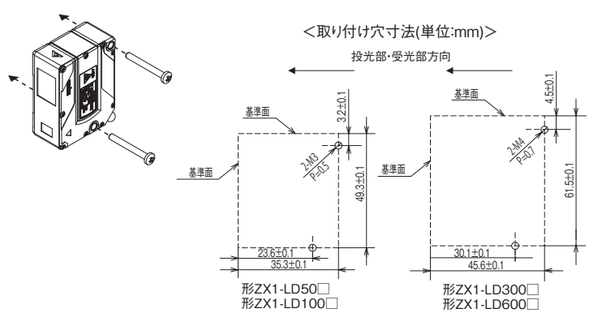
■形ZX1-LD50□□6/形ZX1-LD100□□6
形ZX1-LD300□□6/形ZX1-LD600□□6



CHECK! 延長コードはセンサ本体のコード同様にロボットコードになります。

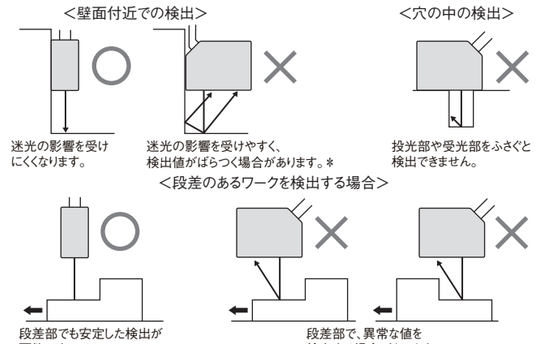
1-2 センサの取り付け

形ZX1-LD50□,形ZX1-LD100□はM3ネジ(締め付けトルク:0.5N・m)で、形ZX1-LD300□,形ZX1-LD600□はM4ネジ(締め付けトルク:1.2N・m)で確実に取り付けてください。



CHECK! センサの投光部、受光部には触れないでください。指紋などが付着すると、正しく測定できなくなります。誤って触れた場合は、使用上の注意の保守点検に従い、拭き取ってください。

■取り付け時の向きの注意点



*レーザ光が反射しにくいように壁面をつや消しの色で塗るか、背景除去機能をON設定にして、チューニングを実施し試してください。
「④詳細設定編 5. 背景除去機能」

1-3 配線について

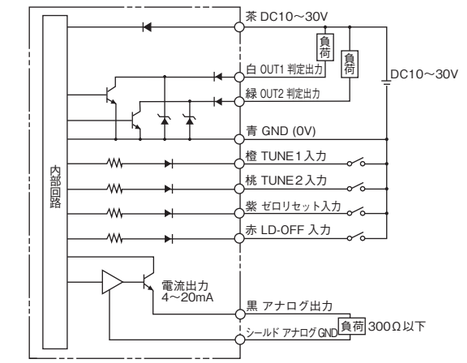
外部入出力の各コードの機能は次のとおりです。

コード色	名称	機能
茶	電源	DC10～30V(リップル(p-p)10%含む)の電源を接続します。 PNPタイプの場合、アナログ出力以外の入出力のコモン端子となります。
青	GND	電源用0V接続線です。NPNタイプの場合、アナログ出力以外の入出力のコモン端子となります。
白	OUT1判定出力	CH1の判定結果を出力します。
緑	OUT2判定出力	CH2の判定結果を出力します。
黒	アナログ出力	測定の結果に応じた電流を出力します。(4～20mA)
シールド	アナログGND	アナログ出力用0V接続線です。 青(0V)のGNDとは分離して接続してください。 【重要】アナログ出力を使用しない場合でも、必ず青(0V)に接続してください。
橙	TUNE1入力	チューニングをCH1に対して行います。
桃	TUNE2入力	チューニングをCH2に対して行います。
紫	ゼロリセット入力	ゼロリセットの実行、または解除を行います。
赤	LD-OFF入力	ON状態にするとレーザ点灯(発光)が停止します。 この状態では、アナログ出力、デジタル表示、判定出力、判定出力表示はキープ機能の設定にしたがって出力します。 デジタル表示には「LdoFF」と表示されます。

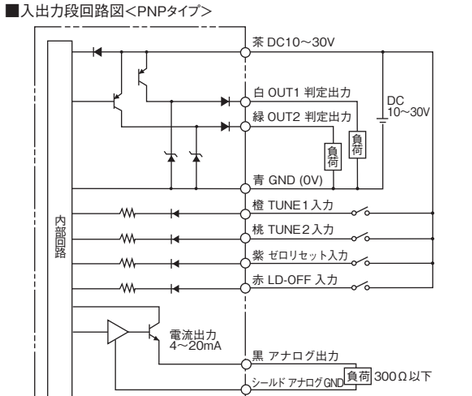
CHECK! ・コード引き出しタイプとコネクタ中継タイプの各コード色、機能は同様です。

⚠ 配線は正しく行ってください。空き線は絶縁処理してください。故障の原因になります。

■入出力段回路図<NPNタイプ>



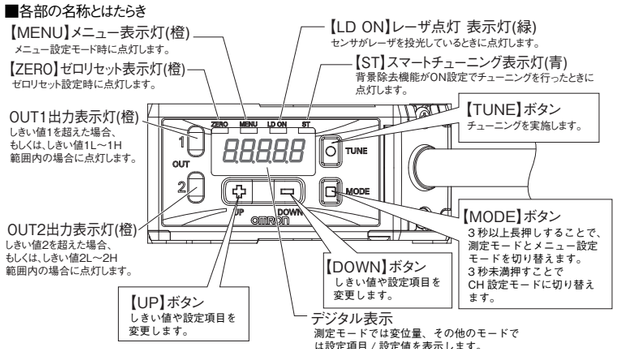
■入出力段回路図<PNPタイプ>



2 設定編

2-1 操作・表示早見表

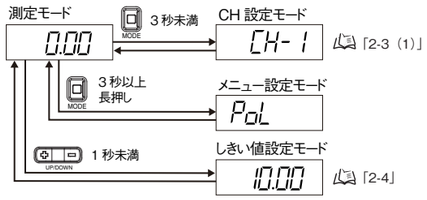
■各部の名称とはたらき



■その他のボタン操作

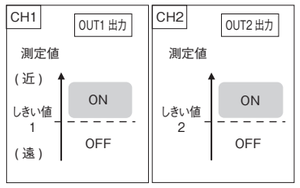
チューニング実行	TUNE ボタン	「2-3」
ゼロリセット設定	UP/DOWN ボタン＋TUNE ボタン同時押し３秒未満	「③(1)」
ゼロリセット解除	UP/DOWN ボタン＋TUNE ボタン同時押し３秒以上	「③(1)」
キーロック設定 / 解除	UP/DOWN ボタン＋MODE ボタン同時押し３秒以上	「③(2)」

■各モードへの切り替え方法

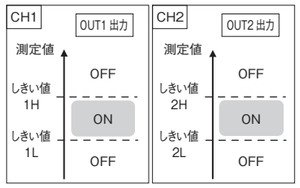


2-2 出力としきい値の関係

<エリア出力 OFF の時>



<エリア出力 ON の時>



CHECK! 上記は出力極性 [PoL] がノーマルオープン [no](初期値) の場合の動作です。ノーマルクローズ [nC] に設定した場合、上記の ON/OFF は反転します。

出力極性	検出時の出力
no	ON
nC	OFF

2-3 チューニングする

■チューニング操作早見表 (CH1/CH2 の選択後にチューニングを実施します。)

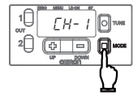
CH 設定モード	MODE ボタンを押し CH 設定モードに入ってから、UP ボタンか DOWN ボタンのいずれかで設定する CH を選択します。
1 点チューニング 「2-3 (1)」「2-3 (4)」	TUNE ボタンを 3 ～ 5 秒押す
2 点チューニング 「2-3 (2)」「2-3 (3)」	1 点目で TUNE ボタンを一回押す 2 点目で TUNE ボタンを一回押す
ワークなしチューニング 「2-3 (5)」	TUNE ボタンを 5 秒以上押す

CHECK!
- ボタンの代わりに外部入力端子である TUNE1 入力でも、同様に CH1 に対してチューニングすることができます。TUNE2 入力の場合でも CH2 に対してチューニングすることができます。
- チューニング種別を変更すると TUNE ボタンや外部入力端子の割付を固定することができます。「④ 詳細設定編 2. チューニング種別」
- 背景除去機能を ON に設定し、チューニングを実行すると、チューニング時の感度に合わせて測定値、感度の制限を行うことができます。周囲の壁などでの乱反射による異常な距離が検出されるときにご使用ください。「④ 詳細設定編 5. 背景除去機能」
- チューニングを行うと、センサ内部の EEPROM(不揮発性メモリ) にしきい値を記録します。この EEPROM の書込み寿命は１０万回です。測定ごとのチューニングは寿命にも気をつけてお使いください。

(1) しきい値を設定するチャンネルを切り替えたい！

● CH 設定モード

1. 測定モードで MODE ボタンを 1 回短く押します。



2. UP/DOWN ボタンを押すことで、以下の順に切り替わります。

CH-1 ⇄ CH-2

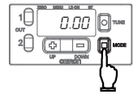
しきい値 1　しきい値 2

＜エリア出力 ON の場合＞

CH 1H ⇄ CH 1L ⇄ CH2H ⇄ CH2L

しきい値 1H　しきい値 1L　しきい値 2H　しきい値 2L

3. MODE ボタンを押すと、測定モードに戻ります。

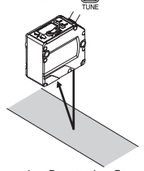


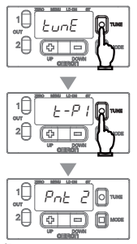
(2) ワークのあり / なしを検出したい！

● 2 点チューニング

良品と不良品、ワークと背景 (基準面)、ワーク A とワーク B のように、異なる高さとなるものを判別するときに用います。

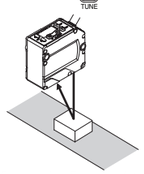
1. ワークがない状態で TUNE ボタンを押します。

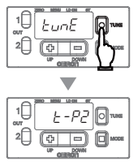




画面が「tunE」→「t-P1」→「Pnt 2」に変わります。

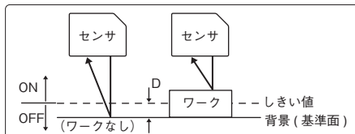
2. ワークがある状態で TUNE ボタンをもう一度押します。





画面が「tunE」→「t-P2」に変わり、2 点チューニングを完了し、測定値表示に戻ります。

➡ 設定完了



各形式のしきい値に持たせる余裕度 (D) は、以下の値です。(固定値)

形式	ZX1-LD50□□	ZX1-LD100□□	ZX1-LD300□□	ZX1-LD600□□
D	0.2	0.7	3	15

単位 : (mm)

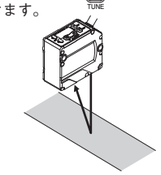
CHECK! ワークの順序はどちらが先でもかまいません。「⑤ エラーメッセージ」

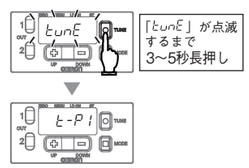
(3) ワークのあり / なしを検出したい！(基準面だけでチューニング)

● 1 点チューニング

背景 (基準面) がすでに決まっており、それを基準にワークのありなしを判別するときに用います。

1. ワークがない状態で TUNE ボタンを「tunE」点滅するまで (3 秒以上 5 秒未満) 押し続けます。

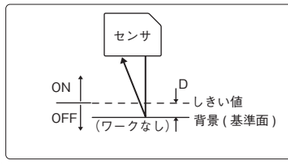




2. 「tunE」が点滅したら TUNE ボタンから指を離します。

画面が「tunE」→「t-P1」に変わり 1 点チューニングを完了し、測定値表示に戻ります。

➡ 設定完了



各形式のしきい値に持たせる余裕度 (D) は、以下の値です。(固定値)

形式	ZX1-LD50□□	ZX1-LD100□□	ZX1-LD300□□	ZX1-LD600□□
D	0.2	0.7	3	15

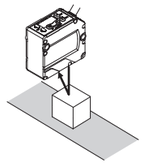
単位 : (mm)

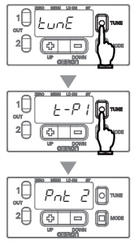
(4) 上限と下限を設定したい！(エリア出力を使う)

● 2 点エリアチューニング　「④ 詳細設定編 7. エリア出力」

上限ワークと下限ワークを使って、範囲内にあるかどうかを判別するときに用います。

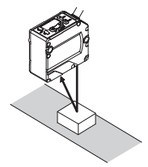
1. メニュー設定モードのエリア出力で ON を選択して、測定モードに戻ります。
2. 検出させたい上限にワークを設置して TUNE ボタンを押します。

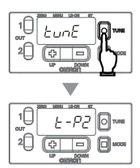




画面が「tunE」→「t-P1」→「Pnt 2」に変わります。

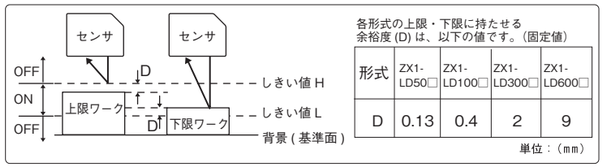
3. 検出させたい下限にワークを設置して TUNE ボタンを 1 回短く押します。





画面が「tunE」→「2 Pnt」に変わり、2 点エリアチューニングを完了し、測定値表示に戻ります。

➡ 設定完了



各形式の上限・下限に持たせる余裕度 (D) は、以下の値です。(固定値)

形式	ZX1-LD50□	ZX1-LD100□	ZX1-LD300□	ZX1-LD600□
D	0.13	0.4	2	9

単位 : (mm)

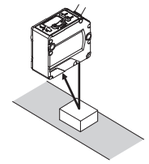
CHECK! ワークの順序はどちらが先でもかまいません。

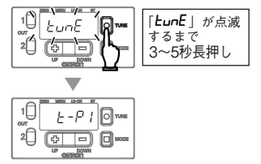
(5) ± で公差を設定したい！

● 1 点エリアチューニング　「④ 詳細設定編 7. エリア出力」

1 つの実ワークを用いて、それを基準に上限と下限を持たせて範囲内にあるかどうかを判別するときに用います。

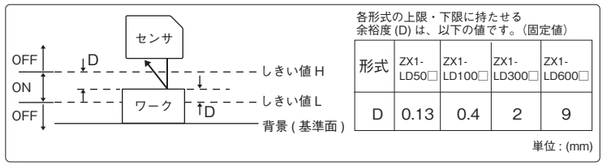
1. メニューの AREA 項目で ON を設定し、測定値表示に戻ります。
2. 検出したいワークがある状態で TUNE ボタンを「tunE」が点滅するまで (3 秒以上 5 秒未満) 押し続けます。
3. 「tunE」が点滅したら TUNE ボタンから指を離します。





画面が「tunE」→「t-P1」に変わり、1 点エリアチューニングを完了し、測定値表示に戻ります。

➡ 設定完了



各形式の上限・下限に持たせる余裕度 (D) は、以下の値です。(固定値)

形式	ZX1-LD50□	ZX1-LD100□	ZX1-LD300□	ZX1-LD600□
D	0.13	0.4	2	9

単位 : (mm)

CHECK! 背景 (基準) をゼロとして、プラスマイナスいくらかのしきい値を設定したい場合は、まずゼロリセットをして、ワークとの距離をゼロにしてから 1 点エリアチューニングを実行してください。「③ 便利な設定編 (1)」

(6)「(2) ～ (5)」の方法でうまく設定できなかった場合は？

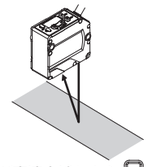
● ワークなしチューニング（エリア出力 OFF の場合）

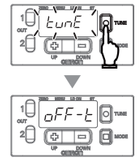
背景 (基準面) がすでに決まっており、それを基準にワークのありなしを判別するときに用います。1 点チューニングと異なり、ワークなしであることを基準に判定しますので、ワーク形状が複雑で受光量不足エラーや計測範囲外エラーになる場合であってもワークありとして判別します。

● ワークなしエリアチューニング（エリア出力 ON の場合）

基準となる面との距離に上限と下限を持たせ、範囲内にあるかどうかを判別するときに用います。2 点エリアチューニングと異なり、ワークなしであることを基準に判定しますので、ワーク形状が複雑で受光量不足エラーや計測範囲外エラーになる場合であってもワークありとして判別します。

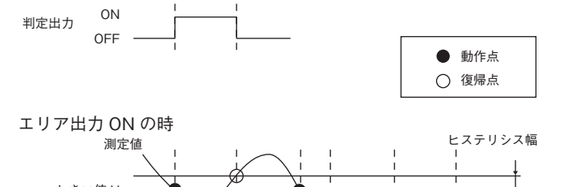
1. ワークがない状態で TUNE ボタンを「tunE」が高速点滅するまで (5 秒以上) 押し続けます。





「tunE」が高速点滅するまで 5秒以上長押し

2. 「tunE」が高速点滅したら TUNE ボタンから指を離します。 ➡ 設定完了



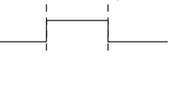
2-4 しきい値の微調整

● しきい値設定

ON/OFF が切り換わる条件を緩めたり厳しくする場合、UP/DOWN ボタンでしきい値を微調整することができます。

UP：しきい値が大きくなります

DOWN：しきい値が小さくなります



CHECK! 「しきい値 1/ しきい値 1H/ しきい値 1L」変更中は OUT1 出力表示灯が点滅します。「しきい値 2/ しきい値 2H/ しきい値 2L」変更中は OUT2 出力表示灯が点滅します。

2-5 ヒステリシス幅の微調整

●ヒステリシス幅の設定

ワークに応じてヒステリシス幅を小さく調整することで微小な段差の判別ができます。ただし、ワークが動いていたり、反射光量が小さいなどの要因により変位値が変動している場合にヒステリシス幅を小さくすると、判定出力がばたつくことがありますのでご注意ください。

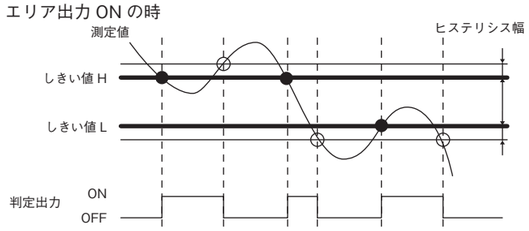
●ヒステリシス幅とは

判定出力がOFFからONに変化する点を動作点、ONからOFFに変化する点を復帰点といいます。この動作点と復帰点の間の距離をヒステリシス幅といいます。本センサではしきい値＝動作点となっており、ヒステリシス幅により復帰点までの距離を設定することができます。

CHECK! エリア出力のON/OFFによって、しきい値に対してヒステリシス幅が設定される方向が異なりますのでご注意ください。

エリア出力 OFF の時

エリア出力 ON の時



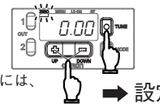
3 便利な設定編

(1) 今の距離を“0”にしたい！

● ゼロリセット

現在の値を“0”にします。

1. UP ボタンと TUNE ボタン
   または DOWN ボタンと TUNE ボタン
   を同時に 1 回短く押します。
   現在値が“0”になります。ゼロリセット設定時には、ゼロリセット表示灯が点灯します。

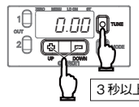


➡ 設定完了

CHECK! ボタンの代わりに外部入力端子であるゼロリセット入力を 4ms 以上 3 秒未満 ON することでゼロリセットを行うことができます。

● ゼロリセット解除

1. UP ボタンと TUNE ボタン、
   または DOWN ボタンと TUNE ボタン
   を同時に 3 秒以上押すと、ゼロリセットは解除されます。



3 秒以上長押し

➡ 設定解除

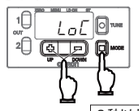
CHECK! ボタンの代わりに外部入力端子であるゼロリセット入力を 3 秒以上 ON することでゼロリセットを解除することができます。

(2) 誤操作を防ぎたい！

● キーロック機能

測定モードにおけるボタン操作を禁止することができます。

1. UP ボタンと MODE ボタン、
   または DOWN ボタンと MODE ボタンを同時に 3 秒以上押します。
   画面は「LoC」を表示します。

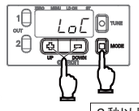


3 秒以上長押し

➡ 設定完了

● キーロック解除

1. キーロック設定後に UP ボタンと MODE ボタン、または DOWN ボタンと MODE ボタン
   を同時に 3 秒以上押すとキーロック解除します。



3 秒以上長押し

CHECK! キーロックは電源再投入後も保持されます。

➡ 設定解除

4 詳細設定編

測定モードで MODE ボタンを 3 秒以上長押しするとメニュー設定モードとなります。
メニュー設定モードでは以下の機能設定ができます。項目設定から MODE ボタンを押下することで、次の項目メニューに移ります。また、全ての設定は CH1、CH2 で共通に適用されます。

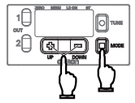
機能の設定	機能の説明

<測定モード> 1.23 ⇄（MODE 3 秒長押し / 1 秒後）⇄ SEt ⇄（1 秒後 / MODE 3 秒長押し）⇄ run

CHECK! キーロック中は以下の画面が表示され、設定モードに入れません。

LoC

キーロックを解除するには UP/DOWN ボタンのいずれかと MODE ボタンを同時に 3 秒以上長押しします。



<メニュー設定モード>

A

：初期値

1. 出力極性

PoL

- no：検出時の出力 ON/OFF を選択します。メニューと同時に出力に反映されます。
- nC：ノーマルオープン：センサ出力 OFF 時、出力端子がオープンになります。
- ノーマルクローズ：センサ出力 OFF 時、出力端子がクローズになります。

「2-2 出力としきい値の関係」

2. チューニング種別

tunE

- ti nE：チューニング方式を選択します。時間識別以外を選択するとチューニング方式が固定になります。時間識別：入力時間で設定
  「②設定編 2-3」
- 2PtS：2 点チューニング
- oFF-t：ワークなしチューニング
- 1Pt：1 点チューニング

3. 応答時間

SPd

- Stnd：標準モード：100ms
- HS：高速モード：10ms
- SHS：最速モード：1ms

CHECK! より安定して検出するのためにも応答速度を長く設定いただくことを推奨します。

4. キープ機能

KEEP

計測エラー時（E-drt、E-brt、E-our）や計測確定前の出力内容を設定します。

- oFF
- on

出力内容	
OUT1/OUT2 出力	アナログ出力
両出力とも OFF	クランプ値（22mA）を出力
距離検出不能と判断する直前の検出値を出力	

CHECK! ワークなしチューニング時は、キープ機能は動作しません。

B

機能の設定	機能の説明

B

5. 背景除去機能

SnAr-t

- oFF：感度の制限を行いません。
- on：チューニング時の感度に合わせて以降の測定値、感度の制限を行います。

チューニング時のワークにのみ感応するようにします。

CHECK! 背景除去機能は、設定を ON に変更した後にチューニングを行うことで有効となります。感度の制限範囲からはずれた時には E-drt または E-brt になります。スマートチューニング表示灯（青色）が点灯することで確認可能です。

6. ヒステリシス幅

HYS

- Stnd：標準設定：ヒステリシス幅に初期値を設定します。
- uSEr：ユーザー設定：任意のヒステリシス幅を設定します。

ヒステリシス幅を設定します。
判定出力が境界付近で不安定にならないようしきい値にヒステリシス幅を設けています。

（単位:mm）

00.00 ⇄（UP/DOWN）⇄ 10.00（MODE）

	初期値	設定可能範囲
LD50	0.07mm	0.00～10.00mm
LD100	0.3mm	0.00～35.00mm
LD300	1mm	0.0～150.0mm
LD600	6mm	0.0～400.0mm

CHECK! ヒステリシス幅を小さく調整することで微小な段差の判別にも対応させることができます。ただし、反射光量の小さい場合は、反映出力が不安定になる場合がありますのでご注意願います。

C

機能の設定	機能の説明

C

7. タイマ機能

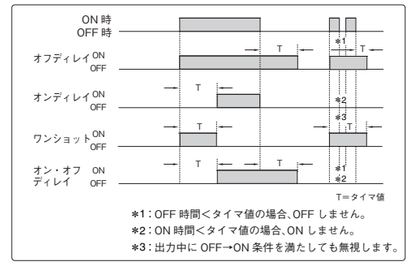
tiMEr

- toFF：タイマ機能を使用しません。
- oFFd：オフディレイタイマ 検出時間が短く、PLC で検出ができない場合、出力 ON を保持します。
- on-d：オンディレイタイマ 検出してから出力 ON を遅らせます。
- Shot：ワンショットタイマ ワークの大きさがばらつく場合でも、一定時間出力します。
- onoFF：オン・オフディレイタイマ 出力 ON/OFF を共に遅らせます。

タイマ動作時間を設定します。

（単位：msec）

1 ⇄（UP/DOWN）⇄ 9999（MODE）



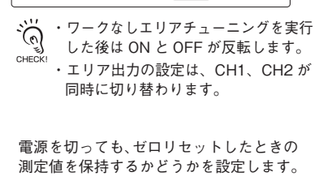
※1：OFF 時間<タイマ値の場合、OFF しません。
※2：ON 時間<タイマ値の場合、ON しません。
※3：出力中に OFF→ON 条件を満たしても無視します。

8. エリア出力

ArEA

- oFF：エリア出力を使わない
- on：エリア出力を使う 測定値がしきい値 L ～しきい値 H の範囲に入った時、ON します。

エリア出力使用 / 不使用を選択します。



CHECK!
- ワークなしエリアチューニングを実行した後は ON と OFF が反転します。
- エリア出力の設定は、CH1、CH2 が同時に切り替わります。

9. ゼロリセットメモリ

SA

- oFF：ゼロリセットメモリ無効
- on：ゼロリセットメモリ有効

電源を切っても、ゼロリセットしたときの測定値を保持するかどうかを設定します。

CHECK! ゼロリセットメモリを「ON」にしておくとゼロリセットするたびにセンサ本体内部の EEPROM（不揮発性メモリ）に書き込まれます。この EEPROM の書込み寿命は 10 万回です。
測定ごとの書込は故障の原因となりますので、「ON」で使用する場合は書込寿命にご注意ください。

10. エコ機能

Eco

- oFF：エコ機能無効
- on：エコ機能有効

消費電力を少なくしたい場合や具体的な値を表示したくない場合に設定します。

CHECK! エコ機能を有効にした場合、RUN モード中に 30 秒間操作を行わないとエコ表示となり、デジタル表示が消灯します。
エコ表示中はいずれかのボタン操作で通常表示に戻ります。

11. 設定初期化

rSt

- no.7：設定初期化キャンセル
- YES.7：この表示の時に MODE ボタンを押すと設定初期化を実行します。

すべての設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

A

5 エラーメッセージ

ここでは、デジタル表示に表示されるエラー内容とその処置について記載します。

エラー名/表示	原因	処置
LD故障エラー E-Ld	レーザダイオードが劣化しています。	いったん電源を切り、センサが正しく結線されているか確認後、電源を再投入してください。 それでもエラーが解決しない場合は、センサが故障しています。センサを交換してください。
システムエラー E-SYS	センサが故障しています。	
EEPROMエラー1 E-nE1	センサ設定メモリが異常です。	いったん電源を切り、センサが正しく結線されているか確認後、電源を再投入してください。それでもエラーが解決しない場合は、センサが故障しています。センサを交換してください。
EEPROMエラー2 E-nE2	センサ設定メモリが異常です。	MODE ボタンを3秒長押しすることにより、設定内容を初期化してください。 それでもエラーが解決しない場合は、センサが故障しています。センサを交換してください。
負荷短楽検知エラー E-Sht	判定出力線が短絡しています。	いったん電源を切り、白OUT1/緑OUT2の出力線が短絡していないか確認後、電源を再投入してください。
チューニング実行エラー E-tun	チューニングに失敗しました。	応答時間をより遅い設定に変更してから、再度チューニング実施してください。 センサとワークの距離が測定範囲内か確認後、再度実施してください。
光量不足エラー E-drY	受光量が不足しています。	応答時間を遅くするか、センサ本体とワーク間の距離をセンサが検出できるように調整してください。 背景除去機能の動作中は、制限感度以下の受光量になっています。
光量飽和エラー E-brt	受光量飽和による計測異常です。	正反射光がセンサに入らないようにしてください。 背景除去機能の動作中は、制限感度以上の受光量になっています。
測定範囲外エラー E-our	測定値が計測範囲外です。	センサ本体とワーク間の距離を測定範囲内に設置してください。

6 定格/仕様

形式	NPN出力	コード引き出しタイプ	形ZX1-LD 50A61	形ZX1-LD 50A61L	形ZX1-LD 100A61	形ZX1-LD 100A61L	形ZX1-LD 300A61	形ZX1-LD 300A61L	形ZX1-LD 600A61	形ZX1-LD 600A61L
		コネクタ中継タイプ	形ZX1-LD 50A66	—	形ZX1-LD 100A66	—	形ZX1-LD 300A66	—	形ZX1-LD 600A66	—
	PNP出力	コード引き出しタイプ	形ZX1-LD 50A81	形ZX1-LD 50A81L	形ZX1-LD 100A81	形ZX1-LD 100A81L	形ZX1-LD 300A81	形ZX1-LD 300A81L	形ZX1-LD 600A81	形ZX1-LD 600A81L
		コネクタ中継タイプ	形ZX1-LD 50A86	—	形ZX1-LD 100A86	—	形ZX1-LD 300A86	—	形ZX1-LD 600A86	—
外形サイズ			52.5mm × 47mm × 24.1mm				66mm × 50.1mm × 27.2mm			
計測範囲			50±10mm		100±35mm		300±150mm		600±400mm	
光源(発光波長)			可視光半導体レーザ (660nm)							
FDA class *2			class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)	class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)	class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)	class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)
JIS規格 IEC/EN class			class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)	class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)	class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)	class 2 (最大1mW)	class 1 (最大0.24mW)
スポット径(代表例) (検出距離中心にて規定) *1			φ0.17mm		φ0.33mm		φ0.52mm		φ0.56mm	
電源電圧			DC10～30V(リップル (p-p) 10%含む)							
消費電流			250mA以下(電源電圧DC10V時)							
アナログ出力			電流出力4～20mA、最大負荷抵抗300Ω							
表示灯			デジタル表示、出力表示灯(OUT1、OUT2)、ゼロリセット表示灯、メニュー表示灯、レーザ点灯表示灯、スマートチューニング表示灯							
応答時間	判定出力		最速(SHS)モード:1ms, 高速(HS)モード:10ms, 標準(STND)モード:100ms							
	レーザOFF入力		200ms以下							
	ZERO入力		200ms以下							
使用周囲照度			受光面照度 白熱ランプ :7,500lx以下	受光面照度 白熱ランプ :5,000lx以下	受光面照度 白熱ランプ :7,500lx以下	受光面照度 白熱ランプ :5,000lx以下	受光面照度 白熱ランプ :5,000lx以下	受光面照度 白熱ランプ :2,500lx以下	受光面照度 白熱ランプ :5,000lx以下	受光面照度 白熱ランプ :2,500lx以下
ウォーミングアップ			電源投入後30分のアナログ出力変動 ±0.1%F.S.以下							
リニアリティ *2			±0.15%F.S.		±0.15%F.S.		±0.25%F.S.		±0.25%F.S.(Near側) ±0.5%F.S.(全範囲)	
温度特性 *3			±0.03%F.S./℃		±0.03%F.S./℃		±0.03%F.S./℃		±0.04%F.S./℃	
静止分解能 *4			2μm		7μm		30μm		80μm	
周囲温度範囲			動作時:-10～+55℃、保存時:-15～+70℃(ただし氷結結露しないこと)							
周囲湿度範囲			動作時・保存時:35～85%RH (ただし結露しないこと)							
耐電圧			AC1,000V 50/60Hz 1min							
振動(耐久)			10～55Hz 複振幅1.5mm X、Y、Z各方向2h							
衝撃(耐久)			500m/s² X、Y、Z各方向3回							
保護構造 *5			IEC規格 IP67							
標準コード長さ *6			2m(コード引き出しタイプ)、5m(コード引き出しタイプ) *7、0.5m(コネクタ中継タイプ) *7							
質量 (梱包状態／本体のみ)		コード引き出しタイプ (2m)	約240g/約180g				約270g/約210g			
		コネクタ中継タイプ (0.5m)	約170g/約110g				約200g/約140g			
材質			ケース・カバー:ポリブチレンテレフタレート、光学窓:ガラス、ケーブル:PVC							
適合規格			EC規格適合,RoHS準拠							

*1.スポット径:検出距離中心における中心光強度の1/e²(13.5 %)で定義しています。定義域外にも漏れ光があり、ワーク周囲の光反射率がワークに比べて高い状況では、影響の出る場合があります。また、スポット径より小さいワークを検出する場合は、正しい計測値が得られない場合があります。
*2.25℃環境下での当社標準対象物(白セラミック)測定時における変位出力の理想曲線に対する誤差を示します。
*3.センサとワークの間をアルミの治具で固定した場合の検出距離中心における温度特性。
*4.STNDモード、標準白色セラミックにて、背景除去機能をONに設定し、チューニングを実施した状態で静止定義。
*5.コネクタ中継タイプのコネクタ部も、延長コードと接続いただくとIP67です。
*6.コネクタ中継タイプ:延長コード10Mもしくは延長コード20Mとセットで使用してください。
*7.形ZX1-LD□□Lは2m(コード引き出しタイプ)のみとなります。

		NPNオープンコレクタ出力	PNPオープンコレクタ出力
判定出力	定格	DC30V 100mA以下	DC30V 100mA以下
	残留電圧	1V以下(負荷電流≦10mA)	1V以下(負荷電流≦10mA)
		2V以下(10mA<負荷電流≦100mA)	2V以下(10mA<負荷電流≦100mA)
外部入力	ON時	0V短絡または1.5V以下	電源電圧短絡または電源電圧-1.5V以内
	OFF時	開放(漏れ電流0.1mA以下)	開放(漏れ電流0.1mA以下)

7 メンテナンス編：トラブルシューティング

ここでは、ハードに関する一時的なトラブルの対処方法を記載しますので、ご確認ください。

トラブル	原因	対応方法
デジタル表示がされない	エコ機能が ON になっていませんか?	エコ機能を OFF してください。 「④ 詳細設定編」
画面に何も表示されない 稼動中に再起動される	電源が入っていないか、断線していませんか?	配線の見直し、電源電圧・電源容量の見直しを行ってください。 「① 設置編 1-3」
レーザ光が投光されない 画面に「LdoFF」が表示される	LD-OFF入力が短絡していませんか?	配線の見直しを行ってください。 「① 設置編 1-3」
入力信号を受け付けない	各コードが正しく接続されていないか、断線の可能性があります。	配線の見直しを行ってください。 「① 設置編 1-3」
測定値が日や時刻によって変動し安定しない	温度特性の影響が考えられます。	ウォーミングアップを30分以上行ってください。定期的に基準対象物でゼロリセットを実行し、補正するようにしてください。
画面に「E-drt」が表示される	検出距離が長く、測定範囲外になっていませんか? 投受光面がほこり汚れや治具などで遮蔽されていませんか?	センサの設置環境を見直してください。
OUT1表示灯/OUT2表示灯が点滅する	他センサによる相互干渉が発生している可能性があります。	他センサのレーザ光線の光路や反射した迷光の影響を受けないよう、設置環境を見直してください。
OUT1表示灯/OUT2表示灯が計測範囲外にもかかわらず点灯し続ける	キープ機能「KEEP」=「on」で、かつ、受光量不足「E-drt」または測定範囲外「E-our」の場合が考えられます。	キープ機能「KEEP」=「oFF」にしてください。
明らかに測定範囲外の領域で、異常な距離が検出される	センサの特性上、このような現象が発生する場合があります。	背景除去機能「BGRmt」=「on」にしてチューニングを行ってください。 「④ 詳細設定編」 検出物体との測定距離を確認のうえ、使用してください。
初期設定に戻したい	—	設定初期化を行ってください。 「④ 詳細設定編」

ご使用に際してのご承諾事項

①安全を確保する目的で直接的または間接的に人体を検出する用途に、本製品を使用しないでください。同用途には、当社センサカタログに掲載している安全センサをご使用ください。
②下記用途に使用される場合、当社営業担当者までご相談のうえ仕様書などによりご確認いただくとともに、定格・性能に対し余裕を持った使い方や、万一故障があっても危険を最小にする安全回路などの安全対策を講じてください。
a)屋外の用途、潜在的な化学的汚染あるいは電気的妨害を被る用途
またはカタログ、取扱説明書等に記載のない条件や環境での使用
b)原子力制御設備、焼却設備、鉄道・航空・車両設備、医用機械、娯楽機械、
安全装置、および行政機関や個別業界の規制に従う設備
c)人命や財産に危険が及びうるシステム・機械・装置
d)ガス、水道、電気の供給システムや24時間連続運転システムなどの
高い信頼性が必要な設備
e)その他、上記 a) ～ d) に準ずる、高度な安全性が必要とされる用途
＊上記は適合用途の条件の一部です。当社のベスト、総合カタログ・データシート等最新版のカタログ、マニュアルに記載の保証・免責事項の内容をよく読んでご使用ください。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●お問い合わせ先
カスタマサポートセンタ フリーコール **0120-919-066**
携帯電話・PHSなどではご利用いただけませんので、その場合は下記電話番号へおかけください。
電話 **055-982-5015** (通話料がかかります)
〔技術のお問い合わせ時間〕
■営業時間:8:00～21:00
■営 業 日 :365日
■上記フリーコール以外のセンシング機器の技術窓口:
電話 **055-982-5002** (通話料がかかります)
〔営業のお問い合わせ時間〕
■営業時間:9:00～12:00／13:00～17:30 (土・日・祝祭日は休業)
■営 業 日 :土・日・祝祭日／春期・夏期・年末年始休暇を除く

●FAXによるお問い合わせは下記をご利用ください。
カスタマサポートセンタ お客様相談室 FAX 055-982-5051

●その他のお問い合わせ先
納期・価格・修理・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、
または貴社担当オムロン営業員にご相談ください。

A⑨ 2009年10月

OMRON

Smart Sensor

ZX1-LD□□

Laser Displacement Sensor CMOS Type

CE

INSTRUCTION SHEET

Thank you for selecting an OMRON product. This sheet primarily describes precautions required in installing and operating the product.

- A specialist who has the knowledge of electricity must treat the product.
- Please read this manual carefully, and use it correctly after thoroughly understanding the product.
- Please keep this manual properly for future reference whenever it is necessary.

© OMRON Corporation 2011 All Rights Reserved.

0199560-4D

PRECAUTIONS ON SAFETY

● Meanings of Signal Words

⚠WARNING	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, will result in minor or moderate injury, or may result in serious injury or death. Additionally there may be significant property damage.

● Explanation of Signs

	● Laser beam Indicates caution on potential laser beam hazard.
	● Do not disassemble Indicates prohibition when there is a risk of minor injury from electrical shock or other source if the product is disassembled.

● Alert Statements

⚠ WARNING

Do not expose your eyes to the laser radiation either directly (i.e., after reflection from a mirror or shiny surface). Loss of sight may possibly occur in case of the exposure to laser high power density.

Do not disassemble the product. Doing so may cause the laser beam to leak, resulting in the danger of visual impairment.

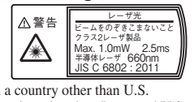
SAFETY PRECAUTIONS FOR USING LASER EQUIPMENT

The ZX1-LD uses a laser as the light source. Lasers are classified based on EN standard (EN 60825-1)

■ Labeling on Laser Use

The ZX1-LD has the following WARNING label or explanatory label on the side of the sensors.

·ZX1-LD□□
Laser Warning Label



·ZX1-LD□□L
Explanatory Label

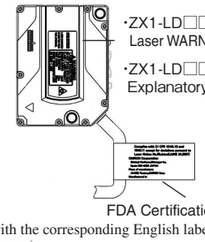
Using in a country other than U.S.

·For countries other than Japan and U.S., warning labels or explanatory labels must be replaced by English ones (supplied with the product). EN60825-1 is provided for products used in Europe, and the content of this standard differs.

·The ZX1-LD is categorized as a Class 2 or Class 1 device as stipulated in EN60825-1:2007.

When using devices in which ZX1-LD is installed in the U.S., the devices are subjected to the U.S. FDA (Food and Drug Administration) laser regulations. ZX1 series is classified into Class2 or Class 1 by the standard of IEC/EN60825-1 according to deviations of Laser Notice NO.50 of this standard, and reported to CDRH (Center for Devices and Radiological Health).

Accession Number
(ZX1-LD□□ : 1210041-000)
(ZX1-LD□□L : 1210041-001)


Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for deviations pursuant to Laser Notice No.50,dated(JUNE 24,2007)
OMRON Corporation
Shiokoji Horikawa,Shimogyo-ku,
Kyoto 600-8530 JAPAN
Place of manufacture:
AYABE Factory,OMRON Corp.
Manufactured in

·ZX1-LD□□
Laser WARNING label

·ZX1-LD□□L
Explanatory Label

FDA Certification label

Replace the WARNING label or explanatory label with the corresponding English label and put the FDA Certification label. (supplied with the sensor)
Please make sure that the label are affixed at the correct locations as indicated.

·ZX1-LD□□
Laser Warning Label
(Class2 label / Aperture label)

·ZX1-LD□□L
Explanatory Label

PRECAUTIONS FOR SAFE USE

The following precautions must be observed, since they are essential to ensure safety in operation.

■ Installation Environment
- Do not use the Sensor in locations subject to explosive or flammable gases.
- To ensure safety in operation and maintenance, do not install the Sensor near high-voltage equipment or power devices.

■ Power Supply and Wiring
- Do not impose voltage exceeding the rated voltage: 10 to 30 VDC, including 10% ripple (p-p).
- When supplying power to the Sensor, make sure that the polarity of the power is correct, and do not connect to an AC power supply.
- Do not short-circuit the load for the open collector output. Short-circuiting the load may cause fire or damage on the Sensor.
- Connect the load correctly. Short-circuiting the load may cause fire or damage on the Sensor.
- Keep the load within the rated range. Overloading may result in fire or damage on the Sensor.
- Wire the product cable separately from high-voltage or power lines. Placing them in the same wiring or the same duct may cause induction, resulting in the product malfunction or damage.
- Always turn off the power of the Sensor before connecting or disconnecting the cable or connector.
- Do not use the Sensor for the safety circuits in nuclear power or life-critical applications.
- Implement safety measures e.g. fail-safe circuits.

■ Installation
- Make sure that all installation screws must be tighten securely.
  Tightening torque: M3, 0.5N·m (ZX1-LD50□□/ZX1-LD100□□)
  M4, 1.2N·m (ZX1-LD300□□/ZX1-LD600□□)

■ Others
- Do not attempt to disassemble, deform by pressure, incinerate, repair, or modify this product.
- When disposing of the product, treat as industrial waste.
- If you notice an abnormal condition such as a strange odor, extreme heating of the unit, or smoke, immediately stop using the product, turn off the power, and consult your dealer.

PRECAUTIONS FOR CORRECT USE

■ Installation Location

Do not install the product in locations subjected to the following conditions:
- Surrounding air temperature outside the rating
- Rapid temperature fluctuations (causing condensation)
- Relative humidity outside the range of 35 to 85%
- Presence of corrosive or flammable gases
- Presence of dust, salt, or iron particles
- Direct vibration or shock
- Reflection of intense light (such as other laser beams, electric arc-welding machines, or ultra-violet light)
- Direct sunlight or near heaters
- Water, oil, or chemical fumes or spray, or mist atmospheres
- Strong magnetic or electric field
- In the water, rain, or outdoors

■ Power Supply and Wiring
- Do not supply the power to the Sensor before checking the I/O wiring.
- Ground the FG terminal when using a commercially-available switching regulator.
- If the power supply line is subject to surges, connect a surge absorber that meets the conditions of the operating environment.
- Do not turn ON the power after wiring before making sure that the power supply is connected correctly; there are no faulty connections, e.g. load short-circuits; the load current is correct. Incorrect wiring may result in failure.
- Use a ZX0-XC□R Extension Cable (sold separately) to extend the Sensor's cable. Use only one cable. Do not extend the cable for the Sensor to a length exceeding 20 m.
- The display and indicators turn ON after approx. 2.5 seconds after the power is turned ON.

■ Warming Up
- After turning ON the power, allow the Sensor to warm up for approx. 30 minutes prior to use. The circuitry is not stable immediately after turning the power ON, and the values gradually change until the Sensor is completely warmed up. When using LD-OFF input for a long period of time, perform warmng up for more than 30 minutes after cancelling LD-OFF.

■ Maintenance and Inspection
- Always turn OFF the power of the Sensor before connecting or disconnecting the cable or for making adjustment.
- Do not use thinner, alcohol, benzene, acetone, or kerosene to clean the Sensor.
- If considerable foreign matter or dust collects on the glass surface of the front of Sensor, use a blower brush (for camera lenses) to blow off the foreign matter. Avoid blowing it off with your breath. For a small amount of foreign matter or dust, gently wipe with a soft cloth. Do not wipe hard. The damaged glass surface may result in detection errors.

■ Sensing Object

The product cannot accurately measure the following types of objects: Transparent objects, objects with an extremely low reflective sensor ratio, objects smaller than the spot diameter, objects with a large curvature, excessively inclined objects, etc.

Checking the Package Content

- Sensor: 1
- Instruction sheet (this sheet): 1 each (Japanese and English)
- FDA Certification label : 1
- Laser Warning Label : 1 each (Japanese and English)

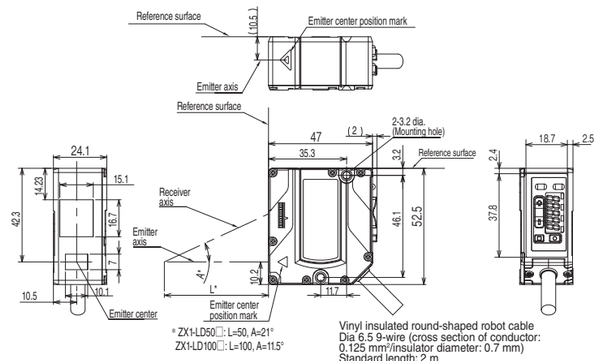
(The explanatory labels are attached to ZX1-LD□□L instead of the warning explanation labels.)

1 Installation

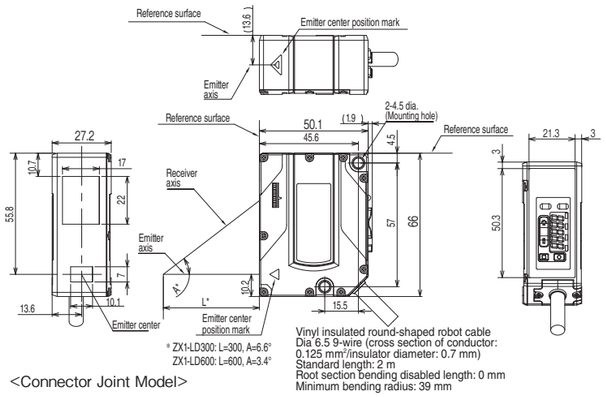
1-1 Dimensions

(Unit: mm)

■ ZX1-LD50□/ZX1-LD100□

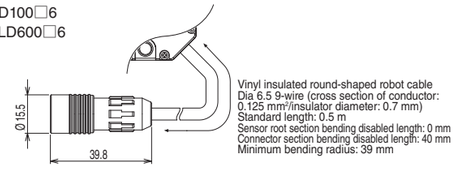


■ ZX1-LD300□/ZX1-LD600□

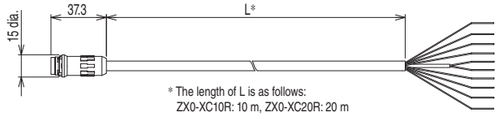


<Connector Joint Model>

■ ZX1-LD50□6/ZX1-LD100□6
ZX1-LD300□6/ZX1-LD600□6


Ø15.5
39.8
Vinyl insulated round-shaped robot cable
Dia 6.5 9-wire (cross section of conductor: 0.125 mm²/insulator diameter: 0.7 mm)
Standard length: 0.5 m
Sensor root section bending disabled length: 0 mm
Connector section bending disabled length: 40 mm
Minimum bending radius: 39 mm

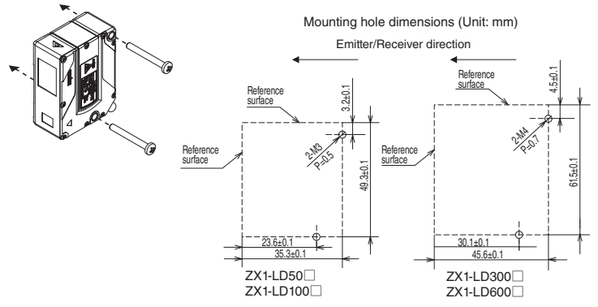
<Extension Cable>



CHECK! The extension cable is the robot cable, the same as the cable of the Sensor Unit.

1-2 Mounting Sensor

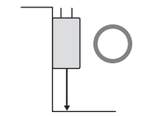
To mount ZX1-LD50 and ZX1-LD100□, use M3 screws (tightening torque: 0.5 N·m) and ZX1-LD300□ and ZX1-LD600, M4 screws (tightening torque: 1.2 N·m).



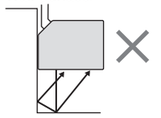
CHECK! Do not touch the sensor emitter and receiver sections. Correct detection may not be possible if fingerprints are attached to these areas. If fingers have inadvertently touched the areas, wipe the areas using a soft, clean cloth.

■ Caution on Mounting Direction

<Detection Near the Wall Surface>

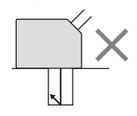


The Sensor is less influenced by ambient lighting.



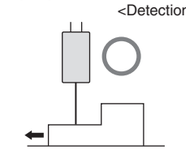
The Sensor is easily influenced by ambient lighting, which may cause detection value variations. *

<Cavity Detection>

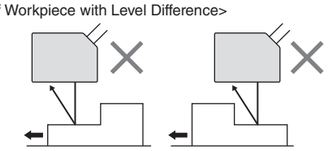


Detection is not possible if the emitter or receiver section is blocked.

<Detection of Workpiece with Level Difference>



Stable detection is possible regardless of level difference.



Level difference may cause an abnormal detection value.

* Before performing tuning, apply mat paint on the wall surface or turn ON the background suppression function to avoid laser light reflection. Refer to " 5. Background suppression function, ④ Detailed Settings"

1-3 Wiring

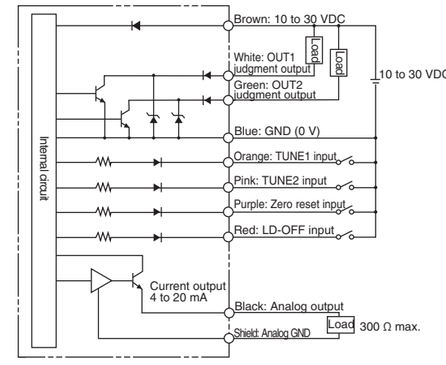
The table below shows individual external I/O wires and their roles.

Wire color	Name	Role
Brown	Power supply	Connect to 10 to 30 VDC (including 10% ripple (p-p)). Used as the common I/Os terminal for all I/O except monitor output for a PNP output type.
Blue	GND	0-V power supply terminal. Used as the common I/Os terminal for all I/O except monitor output for an NPN output type.
White	OUT1 Judgment output	Outputs the CH1 judgment result.
Green	OUT2 Judgment output	Outputs the CH2 judgment result.
Black	Analog output	Outputs the current value according to the measurement result. (4 to 20 mA)
Shield	Analog GND	0-V ground line for monitor output. Connect this line separately from the blue (0 V) GND. [Important] Be sure to connect to blue (0 V).
Orange	TUNE1 input	Inputs tuning to CH1.
Pink	TUNE2 input	Inputs tuning to CH2.
Purple	Zero reset input	Used to execute or cancel zero reset.
Red	LD-OFF input	ON: Laser turns OFF (radiation stop). In this state, analog output, digital display, judgment output and judgment output display are output based on keep function settings. The digital display shows [LdoFF].

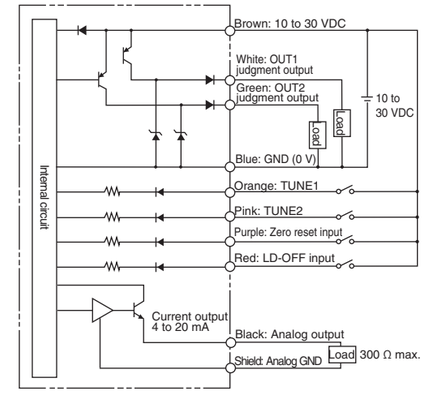
CHECK! The individual wire colors and roles are the same between pre-wired and connector joint models.

⚠ Wire the Sensor correctly. Unused wires must be insulated. Incorrect wiring may result in damage to the Sensor.

■ I/O Circuit Diagram <NPN Output Type>



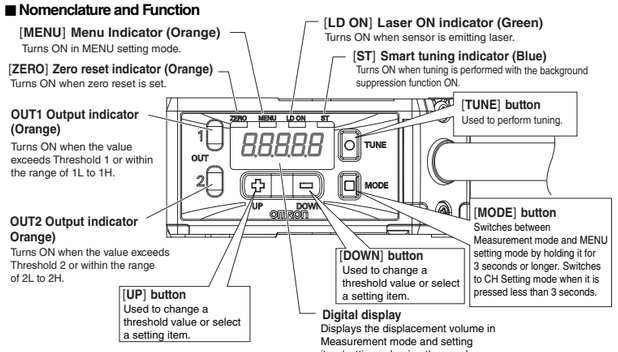
■ I/O Circuit Diagram <PNP Output Type>



2 Settings

2-1 Setting and Display Overview

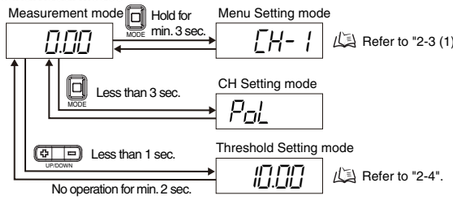
■ **Nomenclature and Function**


[MENU] Menu Indicator (Orange)
Turns ON in MENU setting mode.
[ZERO] Zero reset indicator (Orange)
Turns ON when zero reset is set.
OUT1 Output indicator (Orange)
Turns ON when the value exceeds Threshold 1 or within the range of 1L to 1H.
OUT2 Output indicator Orange)
Turns ON when the value exceeds Threshold 2 or within the range of 2L to 2H.
[UP] button
Used to change a threshold value or select a setting item.
[DOWN] button
Used to change a threshold value or select a setting item.
Digital display
Displays the displacement volume in Measurement mode and setting item/setting value in other modes.
[MODE] button
Switches between Measurement mode and MENU setting mode by holding it for 3 seconds or longer. Switches to CH Setting mode when it is pressed less than 3 seconds.
[TUNE] button
Used to perform tuning.
[LD ON] Laser ON indicator (Green)
Turns ON when sensor is emitting laser.
[ST] Smart tuning indicator (Blue)
Turns ON when tuning is performed with the background suppression function ON.
ZERO
MENU
LD ON
ST
OUT
UP
DOWN
TUNE
MODE

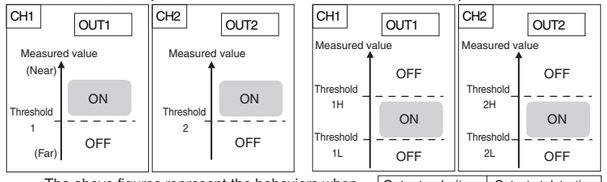
■ **Other Button Operation**

Tuning	TUNE button	Refer to "2-3"
Zero reset setting	UP/DOWN button + TUNE button simultaneously for less than 3 sec.	Refer to "③ (1)"
Zero reset cancel	UP/DOWN button + TUNE button simultaneously for min. 3 sec.	Refer to "③ (1)"
Key lock setting/ cancel	UP/DOWN button + MODE button simultaneously for min. 3 sec.	Refer to "③ (2)"

■ **Switching to Individual Modes**



2-2 Output and Threshold Value



CHECK! The above figures represent the behaviors when the output polarity [PoL] is set to normally-open [no] (initial value). If the polarity is set to normally-closed [nC], the ON/OFF polarities in the figures are reversed.

Output polarity	Output at detection
no	ON
nC	OFF

2-3 Tuning

■ **Quick Reference for Tuning Operation (Perform tuning after selecting a CH)**

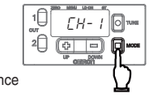
CH setting mode	Press MODE button to enter CH setting mode, and then press UP or DOWN button to select a CH.
1-point tuning Refer to "2-3 (1)", "2-3 (4)"	Press TUNE button for 3 to 5 seconds.
2-point tuning Refer to "2-3 (2)", "2-3 (3)"	Press TUNE button once for the 1st point. Press TUNE button once for the 2nd point.
Tuning mode without workpiece Refer to "2-3 (5)"	Press TUNE button for 5 seconds.

CHECK!
- TUNE1 input (external input terminal) can also replace the button operations for tuning to CH1. Tuning can be performed for TUNE2 to CH2.
- The allocation of TUNE button and external input terminals can be fixed by changing the tuning type. Refer to " 2.Tuning Type, ④ Detailed Settings"
- When setting the background suppression function to ON and performing tuning, the measurement value and sensitivity level can be limited according to the sensitivity. Use it when abnormal distance is detected due to diffuse reflection caused by surrounding walls, etc. Refer to " 5. Background suppression function, ④ Detailed Settings"
- When performing tuning, threshold values are recorded in EEPROM (non-volatile memory) in the sensor. The writing life of EEPROM is 100,000 times. Be careful of writing life when performing measurement-by-measurement tuning.

(1) Switch Channel to Set Threshold

● CH Setting Mode

1. Briefly press the UP/DOWN button in Measurement mode.



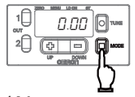
2. The channel display changes in the following sequence by pressing the UP/DOWN button.

CH- 1 ⇄ CH-2
Threshold 1 Threshold 2

<Area Output is ON>

CH 1H ⇄ CH 1L ⇄ CH2H ⇄ CH2L
Threshold 1H Threshold 1L Threshold 2H Threshold 2L

3. Press the MODE button to return to measurement mode.

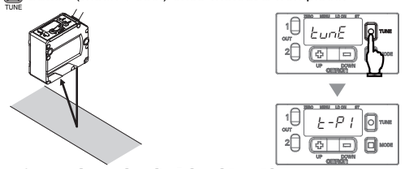


(2) Detect for Workpiece Presence/Absence

● 2-point Tuning

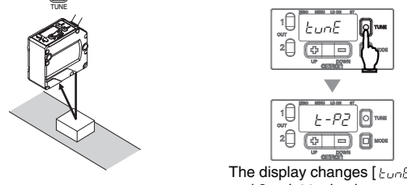
Used to distinguish between two objects with different height from the Sensor e.g. OK and NG, workpiece and background (reference surface) or workpieces A and B.

1. Press the TUNE button (within 1 sec.) once without a workpiece.



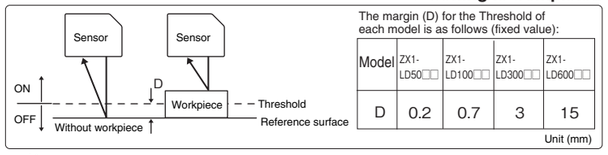
The display changes [tunE] → [t-P1] → [Pnt 2].

2. Lightly press the TUNE button once again with a workpiece.



The display changes [tunE] → [Pnt 2] and 2-point tuning is completed.
The measured value display returns.

➡ **Setting is Completed**



The margin (D) for the Threshold of each model is as follows (fixed value):

Model	ZX1-LD50□□	ZX1-LD100□□	ZX1-LD300□□	ZX1-LD600□□
D	0.2	0.7	3	15

Unit (mm)

CHECK! The order of the workpiece does not matter.
Refer to "⑤ Error Messages" .

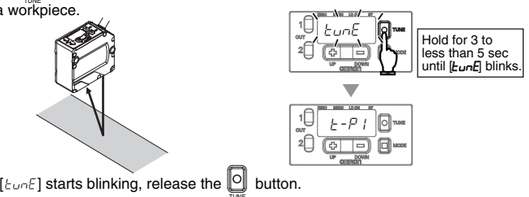
(3) Detect for Workpiece Presence/Absence

(Tuning Only Using Reference Surface)

● 1-point Tuning

Used to judge the presence/absence of a workpiece by referring to the pre-determined background (reference surface).

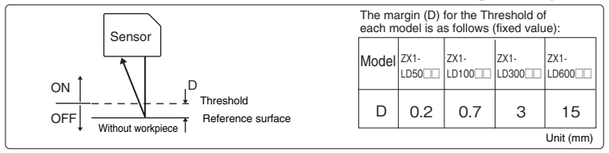
1. Hold the TUNE button (minimum 3 and less than 5 seconds) until [tunE] blinks without a workpiece.



2. When [tunE] starts blinking, release the TUNE button.

The display changes [tunE] → [t-P1] and 1-point tuning is completed.
The measured value display returns.

➡ **Setting is Completed**



The margin (D) for the Threshold of each model is as follows (fixed value):

Model	ZX1-LD50□□	ZX1-LD100□□	ZX1-LD300□□	ZX1-LD600□□
D	0.2	0.7	3	15

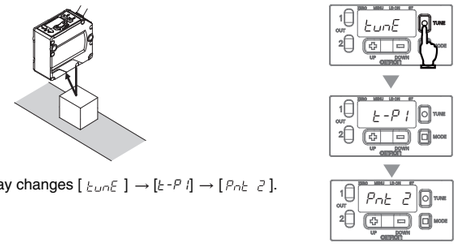
Unit (mm)

(4) Set Upper Limit and Lower Limit (Using Area Output)

● 2-point Area Tuning Refer to " 7. Area Output, ④ Detailed Settings"

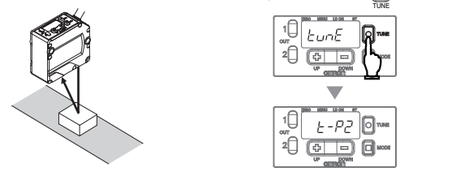
Used to judge if the workpiece is within the range by using the upper limit and lower limit workpieces.

1. Select "ON" for area output in menu setting mode to return to measurement mode.
2. Set the workpiece at the desired upper limit and lightly press the TUNE button.



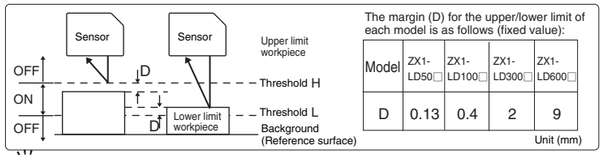
The display changes [tunE] → [t-P1] → [Pnt 2].

3. Set the workpiece at the desired lower limit and lightly press the TUNE button.



The display changes [tunE] → [Pnt 2] and 2-point tuning is completed.
The measured value display returns.

➡ **Setting is Completed**



The margin (D) for the upper/lower limit of each model is as follows (fixed value):

Model	ZX1-LD50□	ZX1-LD100□	ZX1-LD300□	ZX1-LD600□
D	0.13	0.4	2	9

Unit (mm)

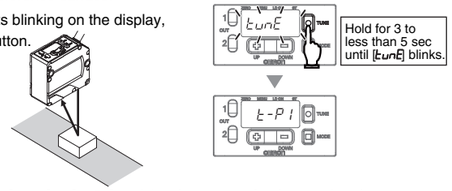
CHECK! The order of the workpiece does not matter.

(5) Set Plus/Minus (±) Tolerance

● 1-point Area Tuning Refer to " 7. Area Output, ④ Detailed Settings"

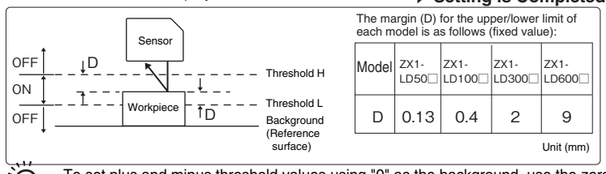
Used to assign the upper and lower limits to one actual workpiece and judge if the workpiece is within the range.

1. Set the AREA item in the menu to "ON" and return to the measured value display.
2. Hold the TUNE button (3 to less than 5 seconds) until [tunE] blinks with a workpiece to detect on the reference surface.
3. When [tunE] starts blinking on the display, release the TUNE button.



The display changes [tunE] → [t-P1] and 1-point area tuning is completed.
The measured value display returns.

➡ **Setting is Completed**



The margin (D) for the upper/lower limit of each model is as follows (fixed value):

Model	ZX1-LD50□	ZX1-LD100□	ZX1-LD300□	ZX1-LD600□
D	0.13	0.4	2	9

Unit (mm)

CHECK! To set plus and minus threshold values using "0" as the background, use the zero reset function to reset the distance to "0". Then, perform 1-point area tuning.
Refer to "③ Convenient Setting Features (1)"

(6) When (2) to (5) Methods Failed

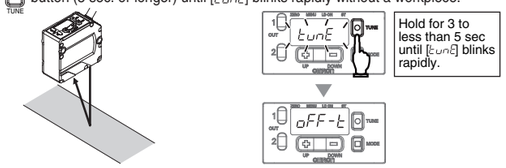
● Tuning mode without Workpiece (Area Output is OFF)

Used to judge the presence/absence of a workpiece using the pre-determined background (reference surface) as the reference. Unlike 1-point tuning, this method focuses on the detection of the absence of workpiece. Insufficient light level or outside-range errors caused by complicated workpiece appearance are judged as "the presence of the workpiece".

● Tuning mode without Workpiece (Area Output is ON)

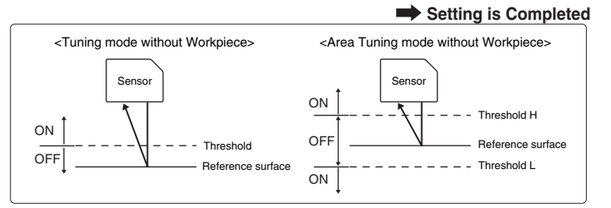
Used to assign the upper and lower limits to the distance from the reference surface and judge if a workpiece is within the range. Unlike 2-point tuning, this method focuses on the detection of the absence of workpiece. Insufficient light level or outside-range errors caused by complicated workpiece appearance are judged as "the presence of the workpiece".

1. Hold the TUNE button (5 sec. or longer) until [tunE] blinks rapidly without a workpiece.



2. When [tunE] in the display starts blinking rapidly, release the TUNE button.

➡ **Setting is Completed**

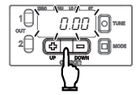


2-4 Fine Adjustment of Threshold Value

● Threshold Value Setting

To loosen or tighten the ON/OFF switching conditions, use the UP/DOWN buttons for minute adjustment of the threshold values.

UP Increase threshold
DOWN Decrease threshold



CHECK! The OUT1 indicator keeps blinking while "Threshold 1/ Threshold 1H/ Threshold 1L" is being changed.The OUT2 indicator keeps blinking while "Threshold 2/ Threshold 2H/ Threshold 2L" is being changed.

2-5 Fine Adjustment of Hysteresis Width

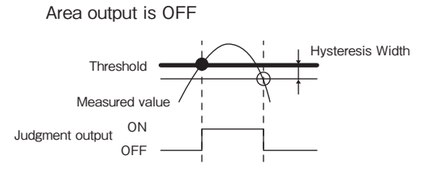
● Hysteresis Width Setting

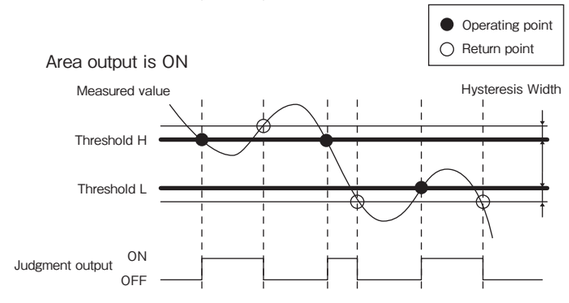
A minute step can be judged by adjusting the hysteresis width according to the workpiece. However, note that the judgment output varies if lowering the hysteresis width while the displacement value is varying due to moving workpiece or low reflection light intensity.

● What is Hysteresis Width?

A point in which a judgment output turns from OFF to ON is called an operating point, and a point in which a judgment output turns from ON to OFF is called a return point. On this sensor, threshold means operating point, and a distance to the return point can be set based on the hysteresis width.

CHECK! Note that the direction where the hysteresis width is set for the threshold differs depending on ON/OFF of the area output.





3 Convenient Setting Features

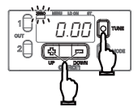
(1) Reset the Present Distance to "0"

● Zero Reset

The present distance value can be reset to "0".

1. Simultaneously press the ▲ (UP) and TUNE buttons, or the ▼ (DOWN) and TUNE buttons, once for a short time.

The present value changes to "0" and zero reset is completed. The zero reset indicator turns ON.

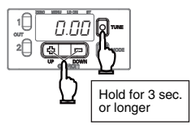


➡ **Setting is Completed**

CHECK! A zero reset can be performed by turning the zero reset input that is an external input terminal for 4 ms or longer and less than 3 seconds instead of using the button.

● Zero Reset Cancel

1. To cancel zero reset function, simultaneously press the ▲ (UP) and TUNE buttons, or the ▼ (DOWN) and TUNE buttons, for at least 3 seconds.



➡ **Zero Reset is Cancelled**

CHECK! A zero reset can be cancelled by turning the zero reset input that is an external input terminal for 3 seconds or longer instead of using the button.

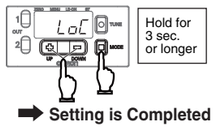
(2) Avoid Mis-operation

● Key Lock Function

Used to disable the button operations in Measurement mode.

1. Simultaneously press the ▲ (UP) and MODE buttons, or the ▼ (DOWN) and MODE buttons, for at least 3 seconds.

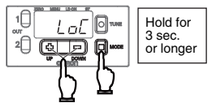
The display shows [LoC].



➡ **Setting is Completed**

● Key Lock Cancel

1. To unlock the key operation after key lock setting, simultaneously press the ▲ (UP) and MODE buttons, or the ▼ (DOWN) and MODE buttons, for at least 3 seconds.



➡ **Key Lock is Cancelled**

CHECK! A key lock state is retained after power is turned ON.

4 Detailed Settings

To enter the Menu Setting mode, hold MODE button for at least 3 seconds.
The Menu Setting mode provides the following function settings.
Pressing the MODE button from the item setting moves to the next item menu.
All the settings are common to CH1 and CH2.

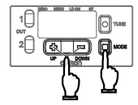
Function Setting	Description

<Measurement Mode> (1.23)
Hold for 3 sec. → SEt
After 1 sec. → run
After 1 sec. → <Menu Setting Mode>
Hold for 3 sec. → <Measurement Mode>

CHECK! The following indication is displayed during key lock is engaged. Setting mode cannot be entered.

LoC

To unlock the keys, simultaneously hold the MODE button and either of the UP/DOWN buttons for 3 second or longer.



A

: Initial value

1. Output Polarity — PoL

Select the output polarity (ON/OFF) for detection.

- no — Normally-open: Output terminal opens when the Sensor output is OFF
- nC — Normally-closed: Output terminal closes when the Sensor output is OFF

CHECK! ON/OFF output is reversed at NC.
"2-2 Output and Threshold Value"

2. Tuning Type — tunE

Select the tuning method.
When you select other than "type discrimination by time", the tuning method is fixed to the selected tuning type.

- tiME — Type discrimination by time: Set by input time
Refer to "② Settings 2-3" .
- 2PtS — 2-point tuning
- oFF-t — Tuning mode without workpiece
- 1Pt — 1-point tuning

3. Response Time — SPd

Set the response time.

- Stnd — Standard mode: 50 ms
- HS — High-speed mode: 10 ms
- SHS — Super high-speed mode: 1.5 ms

CHECK! It is recommended that you set the response speed long enough for stable detection.

4. Keep Function — KEEP

Set the output content at a measurement error (E-drY, E-brt, E-our) or of pre-confirmed measurement.

- oFF
- on

Output content	
OUT1/OUT2 output	Monitor output
Both outputs OFF	Outputs the clamp value (22 mA)
Outputs the immediately previous value when distance detection is judged to be impossible	

B

Function Setting	Description

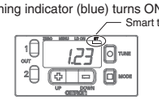
B

5. Background Suppression Function — SmArt

Set the Sensor only to be sensitive to the workpiece condition in tuning.

- oFF — Sensitivity is not restricted.
- on — Post-tuning measured value and sensitivity are restricted according to the sensitivity in tuning.

CHECK! The background suppression function becomes effective by performing tuning after changing the setting to ON.
When shifted from the limited range of the sensitivity, the display shows E-drt or E-brt. The function is ready after the smart tuning indicator (blue) turns ON.



6. Hysteresis width — HYS

Set a hysteresis width.
The hysteresis width has been set to the threshold so that the judgment output does not become unstable near the boundary.

- Stnd — Standard setting: Set an initial value to the hysteresis width.
- uSEr — User setting: Set an arbitrary hysteresis width.

Unit (mm): 0.00 → 10.00

	Initial value	Setting range
LD50	0.07mm	0.00～10.00mm
LD100	0.3mm	0.00～35.00mm
LD300	1mm	0.0～150.0mm
LD600	6mm	0.0～400.0mm

CHECK! A minute step can be judged by lowering the hysteresis width. However, note that the reflection output may become unstable when the reflection light intensity is low.

C

Function Setting	Description

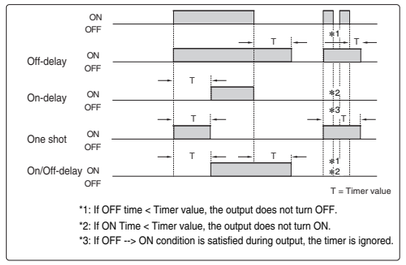
C

7. Timer Function — tiMEr

Specify the timer operation time.

- toFF — The timer function is not used.
- oFFd — Off-delay timer: Holds output ON if the detection time is short and unable to detect with PLC.
- on-d — On-delay timer: Delays output ON after detection.
- Shot — One shot timer: Outputs for a certain period of time even if the workpiece size varies.
- onoFF — On/Off-delay timer: Delays both outputs ON/OFF.

Unit: M Sec: 1 → 9999

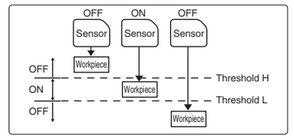


*1: If OFF time < Timer value, the output does not turn OFF.
*2: If ON Time < Timer value, the output does not turn ON.
*3: If OFF --> ON condition is satisfied during output, the timer is ignored.

8. Area Output — Ar-EA

Specify whether the area output function is used or not used.

- oFF — Area output is not used.
- on — Area output is used. The output turns ON when the measured value enters the Threshold L to Threshold H range.



CHECK! • ON and OFF are reversed after area tuning mode without workpiece is performed.
• For area output setting, CH1 and CH2 are automatically switched.

9. Zero Reset Memory — SM

Set whether the measured value at the time of zero reset is held even after power is turned OFF.

- oFF — Zero reset memory disabled
- on — Zero reset memory enabled

CHECK! If the zero reset memory is kept "ON", values are written to EEPROM (nonvolatile memory) inside the sensor unit every time the zero reset is performed. The EEPROM can be written up to 100,000 times. Writing for each measurement may result in malfunction. Be careful of the writting life when using the sensor with eco function ON.

10. Eco Function — Eco

Use this function when the power consumption should be saved or detailed values should not be displayed.

- oFF — Eco function disabled
- on — Eco function enabled

CHECK! When the eco function is enabled, the display changes to the eco display, turning OFF the digital display, if any operation is not performed for 30 seconds in RUN mode. The normal display returns by pressing any button when the eco function is engaged.

11. Setting Reset — rSt

All the settings are reset to the factory default settings.

- no.7 — Setting reset cancel
- YES.7 — Press the MODE button while this message is shown to execute setting reset.

A

5 Error Messages

The following table shows the error details and remedies displayed on the digital display.

Error Name/ Display	Cause (Described in Operation Manual)	Remedy
LD malfunction error E-Ld	Laser diode is deteriorated.	Turn OFF the power and check if the Sensor is correctly wired; and turn ON the power again. If the error persists, the Sensor is faulty. Replace it with a new Sensor.
System error E-SYS	Sensor is faulty	
EEPROM error 1 E-nE1	Sensor setting memory error	Turn OFF the power and check if the Sensor is correctly wired; and turn ON the power again. If the error persists, the Sensor is faulty. Replace it with a new Sensor.
EEPROM error 2 E-nE2	Sensor setting memory error	Hold the MODE key for 3 sec. or longer to reset the settings. If the error is not solved, the Sensor is faulty. Replace it with a new Sensor.
Load short-circuit detection error E-Sht	Judgment output short-circuit	Turn OFF the power and check if OUT1/OUT2 lines are not short-circuited; then, turn ON the power again.
Tuning execution error E-tun	Tuning failure	Set the response time to a slower value and retry tuning. Check if the distance between the Sensor and the workpiece is within the measurement range; then retry tuning.
Insufficient incident light level error E-drY	Insufficient incident light level	Delay response time or adjust the distance between Sensor and workpiece so that the S ensor can detect it. The light reception level is equal to or less than the limited sentivity during background suppression function operation.
Incident light level saturation error E-brt	Measurement error due to saturated incident light level	Avoid regular reflected light from entering into the sensor. The light reception level is equal to or more than the limited sentivity during background suppression function operation.
Measurement out-of-range error E-our	Measurement value outside the measurement range	Set the distance between the Sensor and workpiece within the measurement range.

6 Ratings and Specifications

Model	NPN output	Pre-wire model	ZX1-LD 50A61	ZX1-LD 50A61L	ZX1-LD 100A61	ZX1-LD 100A61L	ZX1-LD 300A61	ZX1-LD 300A61L	ZX1-LD 600A61	ZX1-LD 600A61L
		Connector joint model	ZX1-LD 50A66	—	ZX1-LD 100A66	—	ZX1-LD 300A66	—	ZX1-LD 600A66	—
	PNP output	Pre-wire model	ZX1-LD 50A81	ZX1-LD 50A81L	ZX1-LD 100A81	ZX1-LD 100A81L	ZX1-LD 300A81	ZX1-LD 300A81L	ZX1-LD 600A81	ZX1-LD 600A81L
		Connector joint model	ZX1-LD 50A86	—	ZX1-LD 100A86	—	ZX1-LD 300A86	—	ZX1-LD 600A86	—
Dimensions			52.5mm x 47mm x 24.1mm				66mm x 50.1mm x 27.2mm			
Measurement range			50 ± 10 mm		100 ± 35 mm		300 ± 150 mm		600 ± 400 mm	
Light source (wavelength)			Visible-light semiconductor laser (660 nm)							
FDA class *2			class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)	class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)	class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)	class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)
JIS standard IEC/EN class			class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)	class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)	class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)	class 2 (1mW max.)	class 1 (0.24mW max.)
Spot diameter (Typical) (Defined at the center of the sensing distance) *1			Dia. 0.17 mm		Dia. 0.33 mm		Dia. 0.52 mm		Dia. 0.56 mm	
Power supply voltage			10 to 30 VDC, including 10% ripple (p-p)							
Current consumption			250 mA max. (Power supply voltage: 10 VDC)							
Analog output			Current output: 4 to 20 mA, max. load resistance: 300 Ω							
Indications			Digital display (Red), Output indicators (OUT1, OUT2) (Orange), Zero reset indicator (Orange), Menu indicator (Orange), Laser ON indicator (Green), and Smart tuning indicator (Blue)							
Response time	Judgment output		Super high-speed (SHS) mode: 1 ms, High-speed (HS) mode:10 ms, Standard (STND) mode: 100 ms							
	Laser OFF input		200 ms max.							
	ZERO input		200 ms max.							
Ambient Illumination			Incandescent lamp: 7,500 lux max.	Incandescent lamp: 5,000 lux max.	Incandescent lamp: 7,500 lux max.	Incandescent lamp: 5,000 lux max.	Incandescent lamp: 5,000 lux max.	Incandescent lamp: 2,500 lux max.	Incandescent lamp: 5,000 lux max.	Incandescent lamp: 2,500 lux max.
Warming up			30 min. after power ON; analog output fluctuation ± 0.1% F.S. max.							
Linearity *2			±0.15%F.S.		±0.15%F.S.		±0.25%F.S.		±0.25%F.S.(Near side) ±0.5%F.S.(All ranges)	
Temperature characteristics *3			±0.03%F.S./°C		±0.03%F.S./°C		±0.03%F.S./°C		±0.04%F.S./°C	
Static resolution *4			2 µm		7 µm		30 µm		80 µm	
Surrounding air temperature			Operating: -10 to +55°C, Storage: -15 to +70°C (with no icing or condensation)							
Ambient humidity			Operating and storage: 35% to 85% (with no condensation)							
Dielectric strength			1,000 VAC, 50/60 Hz for 1 min.							
Vibration resistance			10 to 150 Hz, 1.5-mm double amplitude, 2 hours, each in X, Y, and Z directions							
Shock resistance			500 m/s², 3 times each in X, Y, and Z directions							
Standard cable length *5			2 m (Pre-wired model), 5 m (Pre-wired model) *7, 0.5 m (Connector-joint model) *7							
Degree of protection *6 Connection method			IEC 60529, IP67							
Weight (packed state/ main unit only)	Pre-wired model (2 m)		Approx. 240 g/Approx. 180 g				Approx. 270 g/Approx. 210 g			
	Connector joint model (0.5 m)		Approx. 170 g/Approx. 110 g				Approx. 200 g/Approx. 140 g			
Materials			Case and cover: PBT (polybutylene terephthalate), Optical window: Glass, Cable: PVC							
Standards			EC standard conformity, RoHS compliance							

*1. Spot size: Defined at the 1/e² (13.5%) of the central intensity at the measurement center distance. Measurement may be influenced if there is light leakage outside the defined region and the surroundings of the target object have a high reflectance in comparison to the target object. Correct measured values may not be obtained if a workpiece with smaller diameter than the spot size is detected.
*2. It shows the error in relation to the ideal curve of the displacement output when measuring OMRON's standard physical object (white ceramic) under the environment at 25°C.
*3. Temperature characteristics at the center of sensing distance when the space between the sensor and workpiece is locked with aluminum jig.
*4. Static definition with the background suppression function ON for tuning with STND mode and standard white ceramic.
*5. Connector-joint model cable: Use it together with a 10 m or 20 m extension cable.
*6. The connector joint model connector section can achieve IP67 if it is connected via an extension cable.
*7. Only 2 m (Pre-wired type) is available for ZX1-LD□□L.

		NPN open-collector outputs	PNP open-collector outputs
Judgment outputs	Rated output	30 VDC, 100 mA max resistive.	30 VDC, 100 mA max resistive.
	Residual voltage	1 V max. (Load current ≤10 mA)	1 V max. (Load current ≤ 10 mA)
		2 V max. (10 mA < Load current ≤ 100 mA)	2 V max. (10 mA < Load current ≤ 100 mA)
External inputs	ON	Short-circuited with 0-V terminal or 1.5 V or less	Supply voltage short-circuited or within supply voltage -1.5 V max.
	OFF	Open (Leakage current: 0.1 mA max.)	Open (Leakage current: 0.1 mA max.)

7 Maintenance: Troubleshooting

The table below describes non permanent hardware errors and their troubleshooting.

Phenomena	Cause	Remedy
No digital display.	Is the Eco function not turned ON?	Turn OFF the Eco function. Refer to "④ Detailed Settings".
Display is blank.	Is the power supply ON? Are the cables not broken?	Check the wiring, the power supply voltage and capacity. Refer to "① Installation 1-3".
The Sensor restarts during operation.		
Laser is not emitted.	Is LD OFF input not short-circuited?	Check the wiring. Refer to "① Installation 1-3".
[LdoFF] appears in the display.		
Input signal is not received.	Individual wires may not be correctly connected; or there may be a broken line.	Check the wiring. Refer to "① Installation 1-3".
Measured value is not stable, fluctuating depending on the day or time.	Temperature characteristic may be the cause.	Perform warming up at least for 30 minutes. Periodically zero-reset the value using a standard target object for compensation.
[E-drY] appears in the display.	Is the detection distance not too long and out of the measurement range? Is the emitter surface not blocked by dust, dirt or a jig?	Check the Sensor installation environment.
OUT1 indicator/OUT2 indicator blinks.	There may be mutual interference with other sensors.	Check the installation environment and take measures to prevent the interference by other sensors such as laser beam path or reflected stray lights.
OUT1 indicator/OUT2 indicator keeps turning ON even when the values are outside the measurement range.	The Keep function may be set: [hEEP] = [on], and reception light level may be insufficient: [E-drY] or the value may be outside the measurement range: [E-our].	Set the Keep function to: [hEEP] = [on].
An abnormal distance is detected in an area apparently out of the measurement range.	A characteristic phenomenon that can sometimes occur with sensors.	Set the Background Suppression function to: [SmRrt] = [on] and perform smart tuning. Refer to "④ Detailed Settings". Check the measurement distance between the target object and the Sensor.
Want to reset to the initial setting.	—	Reset the settings. Refer to "④ Detailed Settings".

Suitability for Use

THE PRODUCTS CONTAINED IN THIS SHEET ARE NOT SAFETY RATED. THEY ARE NOT DESIGNED OR RATED FOR ENSURING SAFETY OF PERSONS, AND SHOULD NOT BE RELIED UPON AS A SAFETY COMPONENT OR PROTECTIVE DEVICE FOR SUCH PURPOSES. Please refer to separate catalogs for OMRON's safety rated products.

OMRON shall not be responsible for conformity with any standards, codes, or regulations that apply to the combination of the products in the customer's application or use of the product.

Take all necessary steps to determine the suitability of the product for the systems, machines, and equipment with which it will be used. Know and observe all prohibitions of use applicable to this product.

NEVER USE THE PRODUCTS FOR AN APPLICATION INVOLVING SERIOUS RISK TO LIFE OR PROPERTY WITHOUT ENSURING THAT THE SYSTEM AS A WHOLE HAS BEEN DESIGNED TO ADDRESS THE RISKS, AND THAT THE OMRON PRODUCT IS PROPERLY RATED AND INSTALLED FOR THE INTENDED USE WITHIN THE OVERALL EQUIPMENT OR SYSTEM.
See also Product catalog for Warranty and Limitation of Liability.

■ EUROPE
OMRON EUROPE B.V. Sensor Business Unit
Carl-Benz Str.4, D-71154 Nufringen Germany
Phone:49-7032-811-0 Fax: 49-7032-811-199

■ NORTH AMERICA
OMRON ELECTRONICS LLC
One Commerce Drive Schaumburg,IL 60173-5302 U.S.A.
Phone:1-847-843-7900 Fax : 1-847-843-7787

■ ASIA-PACIFIC
OMRON ASIA PACIFIC PTE. LTD.
No. 438A Alexandra Road #05-05-08(Lobby 2),
Alexandra Technopark, Singapore 119967
Phone : 65-6835-3011 Fax :65-6835-2711

■ CHINA
OMRON(CHINA) CO., LTD.
Room 2211, Bank of China Tower,
200 Yin Cheng Zhong Road,
PuDong New Area, Shanghai, 200120, China
Phone : 86-21-5037-2222 Fax :86-21-5037-2200

OMRON Corporation

D ⓪ OCT, 2009